ボリューム関係レポートをカスタマイズする

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/reporting/concept_customize_volume_relationship_reports.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

ボリューム関係レポートをカスタマイズする 1
- Active IQ Unified Manager でボリューム関係レポートをカスタマイズする 1
- Active IQ Unified Manager で障害の原因別にボリューム関係をグループ化するレポートを作成する 1
- Active IQ Unified Manager でボリュームの関係を問題別にグループ化するレポートを作成する 2
- Active IQ Unified Manager で一定時間間隔でのボリューム転送の傾向を表示するレポートを作成する 2
- Active IQ Unified Manager で失敗または成功したボリューム転送を表示するレポートを作成します 3
- Active IQ Unified Manager で転送サイズに基づいてボリューム転送を表示するレポートを作成する 4
- Active IQ Unified Manager でボリューム転送を日ごとにグループ化して表示するレポートを作成します 4

ボリューム関係レポートをカスタマイズする

Active IQ Unified Manager でボリューム関係レポートをカスタマイズする

ボリューム関係インベントリ レポートでは、クラスタ内のストレージ インベントリの詳細を分析できるほか、ボリュームに必要な保護レベルを把握したり、障害の原因、パターン、スケジュールに基づいてボリュームの詳細をフィルタリングしたりすることができます。

Active IQ Unified Manager で障害の原因別にボリューム関係をグループ化するレポートを作成する

関係が正常な状態でない理由別にボリュームをグループ化するレポートを作成できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

次の手順に従って、ボリュームを障害の原因別にグループ化するカスタム ビューを作成し、そのビューのレポートを生成するようにスケジュール設定します。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ ＞ ボリューム をクリックします。
2. 「表示」メニューで、関係 > *すべての関係*を選択します。
3. 「`Relationship Health`」と「`Unhealthy Reason`」の列がビューに表示されるようにするには、**Show/Hide** を選択してください。

   他の列を追加または削除して、レポートにとって重要なビューを作成します。
4. 「`Relationship Health`」列と「`Unhealthy Reason`」列を「`State`」列の近くにドラッグします。
5. フィルターアイコンをクリックし、以下のフィルターを追加してから、*フィルターを適用*をクリックしてください。
   - 関係の健全性に問題あり
6. 「`Unhealthy Reason`」列の上部をクリックすると、障害の原因別にボリュームの関係をグループ化できます。
7. ビューの内容を反映した具体的な名前を付けて保存してください。例えば、「`Vol relationships by failure`」などです。
8. インベントリページの「スケジュール済みレポート」ボタンをクリックします。
9. レポートスケジュールの名前を入力し、その他のレポートフィールドへの入力を完了したら、行の最後にあるチェックマーク（✔）をクリックします。

   テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者

にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、障害のタイプごとに原因と影響を調査できます。

Active IQ Unified Manager でボリュームの関係を問題別にグループ化するレポートを作成する

ボリューム関係を問題別にグループ化するレポートを作成できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

次の手順に従って、ボリューム関係を問題別にグループ化するカスタム ビューを作成し、そのビューのレポートを生成するようにスケジュール設定します。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ ＞ ボリューム をクリックします。
2. 「表示」メニューで、関係 > *すべての関係*を選択します。
3. レポートに表示したくない列を削除するには、*表示/非表示*を選択してください。
4. 「`Unhealthy Reason`」列を「`State`」列の近くにドラッグします。
5. 「`Unhealthy Reason`」列の上部をクリックすると、問題ごとにボリュームをグループ化できます。
6. ビューの内容を反映した具体的な名前を付けて保存してください。例えば、「`Vol relationships by issue`」などです。
7. インベントリページの「スケジュール済みレポート」ボタンをクリックします。
8. レポートスケジュールの名前を入力し、その他のレポートフィールドへの入力を完了したら、行の最後にあるチェックマーク（✔）をクリックします。

   テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、問題のタイプごとに原因と影響を調査できます。

Active IQ Unified Manager で一定時間間隔でのボリューム転送の傾向を表示するレポートを作成する

特定の期間のボリューム転送の傾向を表示するレポートを作成できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

次の手順に従って、特定の期間のボリュームを表示するカスタム ビューを作成し、そのビューのレポートを生成するようにスケジュール設定します。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ ＞ ボリューム をクリックします。
2. 「表示」メニューで、「関係」＞「過去1か月間の転送状況」を選択します。
3. レポートに表示したくない列を削除するには、*表示/非表示*を選択してください。
4. 「転送期間」列を「運用結果」列の近くにドラッグします。
5. フィルターアイコンをクリックし、以下のフィルターを追加してから、*フィルターを適用*をクリックしてください。
   - 転送終了時間が過去7日間以内
6. 「Transfer Duration」列の上部をクリックすると、ボリュームを時間間隔で並べ替えることができます。
7. ビューの内容を反映した具体的な名前を付けてビューを保存します。例：「Volumes by duration」
8. インベントリページの「スケジュール済みレポート」ボタンをクリックします。
9. レポートスケジュールの名前を入力し、頻度を*Weekly*に設定し、その他のレポートフィールドへの入力を完了したら、行の最後にあるチェックマーク（✓）をクリックします。

   テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、転送期間を調査できます。

Active IQ Unified Manager で失敗または成功したボリューム転送を表示するレポートを作成します

ボリューム転送のステータスを表示するレポートを作成できます。このレポートでは、失敗したボリューム転送と成功したボリューム転送の両方を確認できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

次の手順に従って、失敗した転送と成功した転送を表示するカスタム ビューを作成し、そのビューのレポートを生成するようにスケジュール設定します。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ ＞ ボリューム をクリックします。
2. 「表示」メニューで、「関係」＞「過去1か月間の転送状況」を選択します。
3. レポートに表示したくない列を削除するには、*表示/非表示*を選択してください。
4. 「Operation Result」列を「State」列の近くにドラッグします。
5. 「Operation Result」列の上部をクリックすると、ボリュームをステータス順に並べ替えることができます。
6. ビューの内容を反映した具体的な名前を付けて保存します。例：「Volumes by transfer status」
7. インベントリページの「スケジュール済みレポート」ボタンをクリックします。
8. レポートスケジュールの名前を入力し、その他のレポートフィールドへの入力を完了したら、行の最後にあるチェックマーク（✓）をクリックします。

テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、転送ステータスを調査できます。

Active IQ Unified Manager で転送サイズに基づいてボリューム転送を表示するレポートを作成する

ボリューム転送を転送サイズに基づいて表示するレポートを作成できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

次の手順に従って、ボリューム転送を転送サイズに基づいて表示するカスタム ビューを作成し、そのビューのレポートを生成するようにスケジュール設定します。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ ＞ ボリューム をクリックします。
2. 「表示」メニューで、「関係」＞「過去1か月の転送レート」を選択します。
3. 「`Total Transfer Size`」列の上部をクリックすると、ボリューム転送をサイズ順に並べ替えることができます。
4. ビューの内容を反映した具体的な名前を付けて保存します。例：「`Volumes by transfer size`」
5. インベントリページの「スケジュール済みレポート」ボタンをクリックします。
6. レポートスケジュールの名前を入力し、その他のレポートフィールドへの入力を完了したら、行の最後にあるチェックマーク（✔）をクリックします。

   テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、ボリューム関係を転送サイズ別に調査できます。

Active IQ Unified Manager でボリューム転送を日ごとにグループ化して表示するレポートを作成します

ボリューム転送を日付別に表示するレポートを作成できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

次の手順に従って、ボリューム転送を日付別に表示するカスタム ビューを作成し、そのビューのレポートを生成するようにスケジュール設定します。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ ＞ ボリューム をクリックします。
2. 「表示」メニューで、「関係」＞「過去1か月の転送レート」を選択します。

3. 「Day」列の上部をクリックすると、ボリューム転送を日ごとに並べ替えることができます。
4. ビューの内容を反映した具体的な名前を付けて保存します。例：「Volume transfers by day」
5. インベントリページの「スケジュール済みレポート」ボタンをクリックします。
6. レポートスケジュールの名前を入力し、その他のレポートフィールドへの入力を完了したら、行の最後にあるチェックマーク（✔）をクリックします。

   テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、ボリューム転送を日付別に調査できます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。